

TeCOT医療機関の登録状況及び検体採取能力について

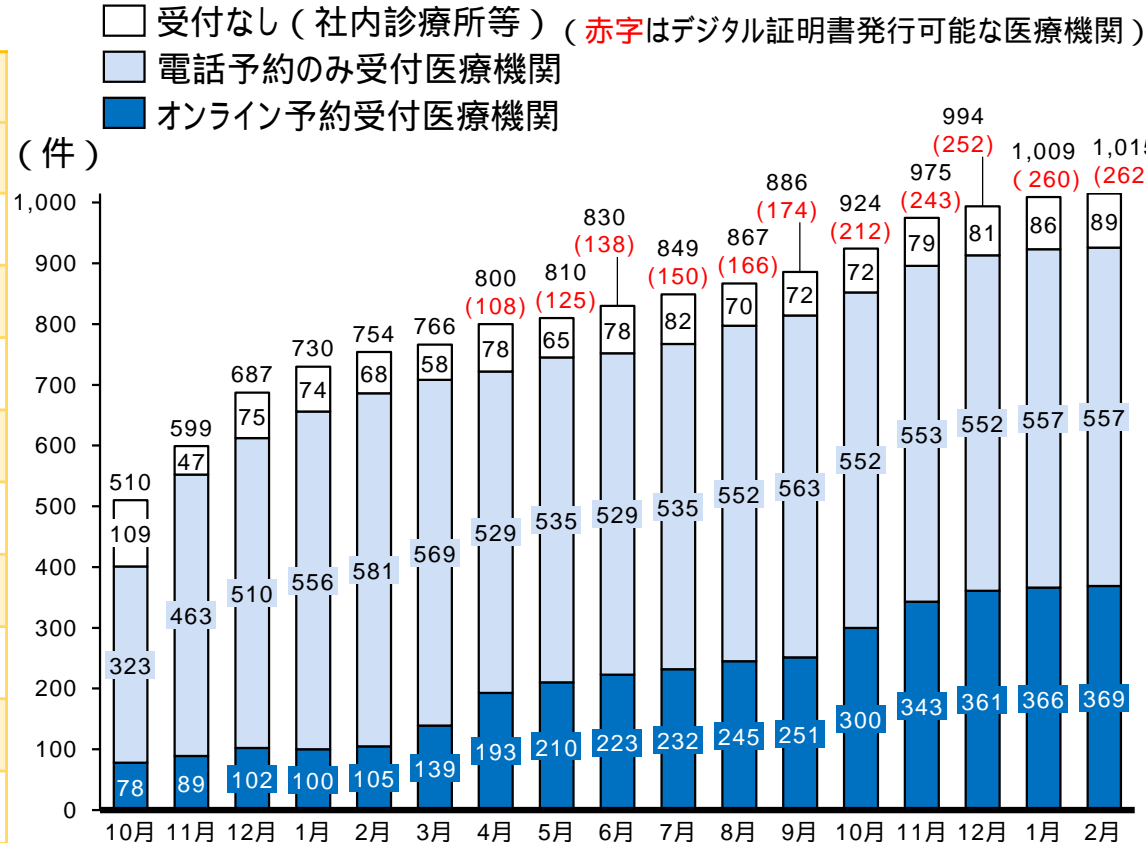
- 日本医師会、渡航医学会、経団連等の御協力を得て登録を呼びかけた結果、これまで登録医療機関は1,015まで増加。現時点では全都道府県に存在（図1）。
- 4月のTeCOTアプリ・デジタル証明書発行機能のリリースに伴い、医療機関に周知広報を行った結果、オンライン予約機能を利用する医療機関は全体の約3分の1まで増加し、そのうち約7割がデジタル証明書発行機能を利用。引き続き、利用マニュアルの見直しや医療機関への個別アプローチ（利用・登録サポート）等により、両機能の利用促進を図る。

（図1）医療機関の登録状況
【令和4年2月14日時点（2月21日公表）】

<ブロック別医療機関数、検体採取能力>

ブロック	機関数	検体採取能力/日		
		平日(平均)	土	日
北海道	21	500	443	315
東北	28	328	230	53
関東甲信越	551	33,585	29,987	25,402
中部	138	3,275	2,341	1,542
近畿	160	6,548	5,825	4,613
中国	29	591	417	15
四国	23	214	150	4
九州	65	752	518	202
小計	1,015	45,793	39,911	32,146

（図2）TeCOTオンライン予約受付
医療機関数*の推移（全国）

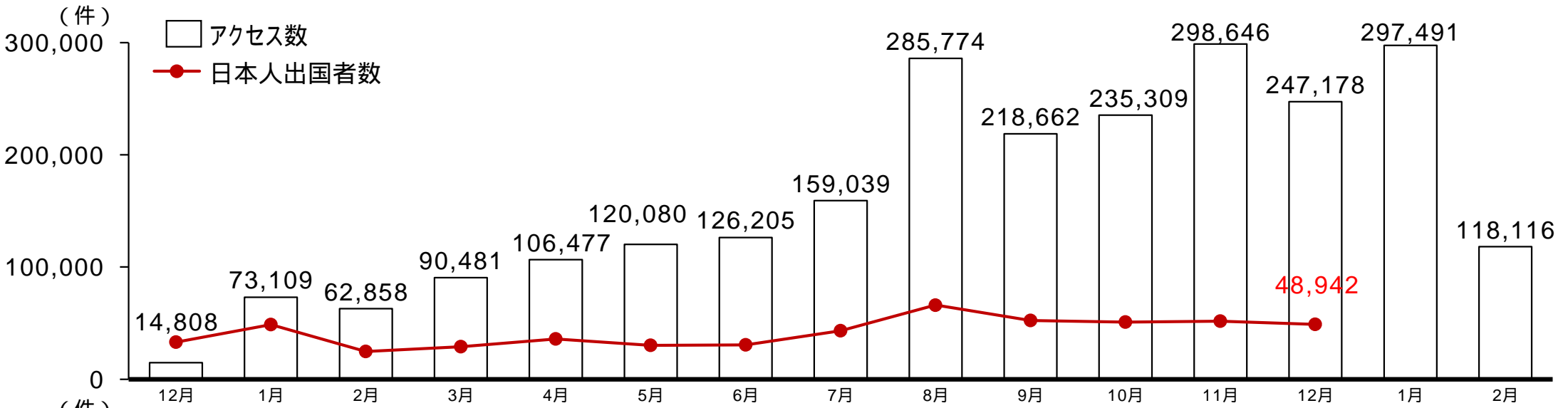


*各月末時点での登録医療機関について集計。2月分は2/14断面。0

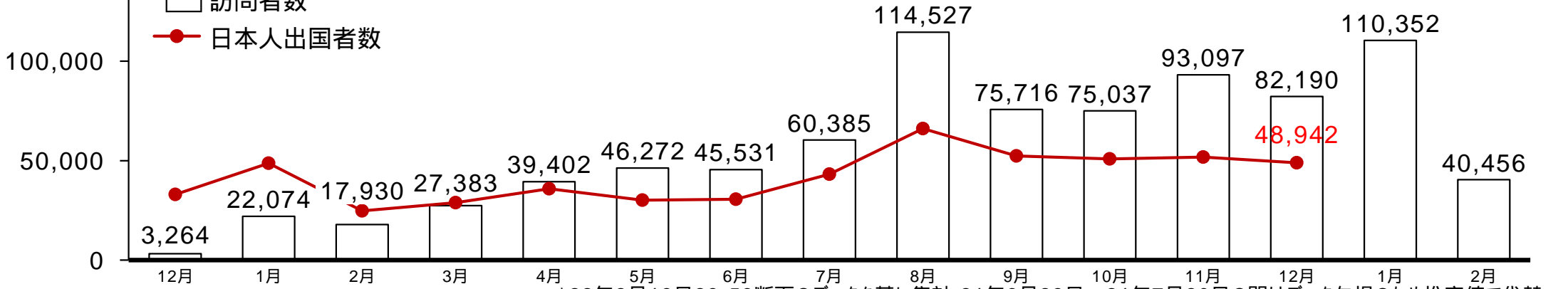
TeCOTの利用状況（TeCOTポータルサイト）

● 昨年12月にリリースしたTeCOTポータルサイトについては、アクセス数・利用者数はやや増加傾向にあり、2021年8月及び2022年1月の訪問者数は10万人を超えている。

（図1）TeCOTポータルサイト利用状況（アクセス数）*



（図2）TeCOTポータルサイト利用状況（訪問者数）*



*22年2月13日23:59断面のデータを基に集計 21年6月23日～21年7月20日の間はデータ欠損のため推定値で代替